

# 第1回 Web 意見交換会(第2回市民ワークショップの代替) 実施報告

## ■目的

環境に関する市民の意識や意見を収集・把握し、(仮称)小平市第三次環境基本計画の素案策定に活かす。

## ■Web 意見交換会概要

無作為抽出による市民アンケートにワークショップの参加依頼を同封し、参加希望があった方を登録した上で、当日参加可能な方に実施した。対面式の市民ワークショップの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 会議形式を採用した。市民との意見交換を Web 会議形式で行ったのは、市で初の取組である。

- (1) 日時 令和2年6月27日(土)午後2時～午後4時
- (2) 場所 Web 会議形式 (Zoom)
- (3) 参加登録者 27名
- (4) 当日参加者 5名

年齢	50 歳代	60 歳代	70 歳代
人数	1	3	1

## ■次第

- (1) 第1回市民ワークショップのふりかえり
- (2) 現行計画の施策と市民の取組、進捗状況について説明
- (3) 意見交換
  - ① 現行計画の「市民の取組」の自己評価
  - ② 取り組めなかった理由を考える
  - ③ 取り組むために必要なモノ・コトは何か
- (4) まとめ

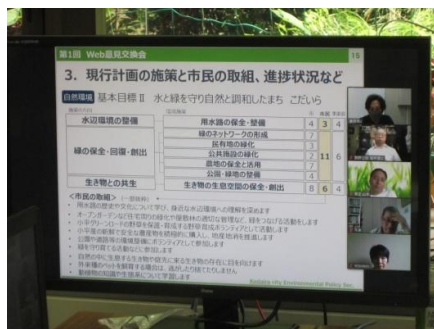
## ■内容

- (1) 第1回市民ワークショップのふりかえり

(仮称)小平市第三次環境基本計画を策定するにあたり、市民の皆様から広く意見を収集することを目的に、令和元年11月30日に市民ワークショップを開催した。当日話し合った3つのテーマ(①「小平市の環境の良いところ、悪いところ」、②「小平市の環境が将来どうなってほしいか」、③「②を実現するために何をすべきか」)について、集約した意見を示し、参加者の思いや感想を紹介した。

- (2) 現行計画の施策と市民の取組、進捗状況について説明

現行計画である小平市第二次環境基本計画の重点施策の実施状況を説明した。また、5つの基本目標に沿って、施策の方向や環境施策を示し、市民の取組として定めている事項を紹介した。



### (3) 意見交換

第1回市民ワークショップで意見が少なかった分野を中心にテーマ（施策の方向）を設定し、テーマごとに①「現行計画の「市民の取組」の自己評価」を行った。続いて、取組の中で特に評価の低かった項目（太字）について、②「取り組めなかった理由」、③「取り組むために必要なモノ・コト」について考えていただいた。発言する際は挙手していただき、事務局が指名した後に発言するルールとした。最後に意見を集約し、参加者全員で共有した。テーマ3としていた項目（緑の保全・回復・創出）は進行の関係で割愛した。

#### <自己評価を行った施策の「市民の取組」について>

基本目標	施策の方向	①において取組が弱い項目（太字が討議対象）
地球環境	低炭素社会の形成 (テーマ1)	緑のカーテンなど身近な緑を増やし、快適に過ごせる工夫をします <b>太陽光発電や燃料電池等、新エネルギー利用を進めます</b> 家を建てる時は、エネルギー効率を考慮した環境共生住宅を選びます
自然環境	水辺環境の整備 生き物との共生 (テーマ2)	用水路の清掃に積極的に参加します 自然観察会に参加し、動植物が生息する水辺について学習します <b>自然観察会などのイベントに参加し、身近な生き物について学びます</b> 動植物の保全活動に参加します
参加と協働	環境教育・環境学習 パートナーシップの形成 環境に関する情報の充実 (テーマ4)	環境に関する講座や勉強会、イベントに積極的に参加します 環境情報の交換や共有を進め、活動のネットワークを広げます <b>環境保全のボランティア活動に参加します</b>

#### <テーマ1>低炭素社会の形成

取組が弱い項目 (討議対象)	太陽光発電や燃料電池等、新エネルギー利用を進めます
②取り組めなかった理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根や壁につけるにはハードルが高い</li> <li>・燃料電池の購入もハードルが高い。</li> </ul>
③取り組むために必要なモノ・コト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション居住者は設置できないので小型の製品情報などを紹介（発信）してもらえばよい</li> <li>・導入に対する小平市の補助金をもっとPRすることが必要</li> <li>・燃料電池の供給企業が限られるので普及の仕方に工夫が必要</li> <li>・目標がわかりにくいので、太陽光発電・燃料電池の導入方法や扱っている企業、補助金等の具体的なものを示したほうが良い</li> </ul>

#### <テーマ2>水辺環境の整備／生き物との共生

取組が弱い項目 (討議対象)	自然観察会などのイベントに参加し、身近な生き物について学びます。
②取り組めなかった理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したいが参加できない。どこで周知しているかわからない。</li> <li>・開催回数が少ないのでは？</li> <li>・自然観察会には参加できていないが、日ごろから自然観察をしている。</li> <li>・観察会には参加していないが、借りている1坪農園でビオトープを作っているの、これから関心を持っていきたい。</li> <li>・仕事が忙しいため参加できない。</li> <li>・小平市に観察会を行うような会が少ない？</li> </ul>

③取り組むために必要なモノ・コト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察会の回数が増えればよいが、増やせないのであれば、web を利用し紹介、情報を提供して緑に関心を持つ機会を増やせるのでは</li> <li>・街中に興味を持つ説明版など市民に訴えかける取組があればよいと思う（国分寺にあった）</li> <li>・現在の人為的な環境を維持するために苦労していることをアピールすればよいのでは</li> </ul>
------------------	---

<テーマ 4>環境教育・環境学習／パートナーシップ／環境情報の充実

取組が弱い項目（討議対象）	環境保全のボランティア活動に参加します
②取り組めなかった理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういった活動が開かれているのか情報発信されているのかがわからない</li> <li>・小平市で何ができるのかがよくわからない</li> </ul>
③取り組むために必要なモノ・コト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のメルマガ等による情報発信を活用</li> <li>・LINE が役に立つのでは（厚労省からの連絡に対応している人が多い）</li> <li>・西武鉄道やバスの中づりなどのアナログ的な情報発信も必要では</li> <li>・環境保全のボランティア活動としてどのようなものがあるのかなどの情報発信が必要</li> <li>・ホームページにサークル活動リストはあるが、ボランティア活動は出ていないと思う ⇒載せ方を考えることが必要</li> <li>・市民が参加できるものの年間計画表があると参加しやすい</li> </ul>

(4) まとめ

意見交換会の感想やその他の意見等をいただいた。

分野	意見
緑地保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小平市は緑が多く良い環境だが、宅地化が進み、緑が徐々に無くなってきている</li> <li>・緑の多い環境の保全について、長期的な計画があると良い</li> </ul>
道路大気汚染の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武鉄道の高架の設置については費用対効果を試算し、市民にアピールしたうえで今後の取組を進めていくことが重要</li> <li>・高架が増えることで大気汚染が減るだろう</li> </ul>
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみについては、市指定のごみ袋が、ある商業施設で使われているものと似ており、マンションでこれを利用している例が散見される</li> <li>・ごみ袋を有料化するのであれば市として環境パトロールをしてほしい</li> </ul>
その他の環境対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンロードは、整備されている区間とされていない区間があり、後者については管理を徹底してほしい</li> <li>・地域概況の説明では、東京都の見解と方向性の統一が重要（湧水の飲料としての安全性等）</li> </ul>

会議進行・参加方法に対するご意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて Web 会議に参加したが、中身そのものは良かった</li> <li>・若い方を加えるなど、人数を増やし、大人から子どもまで様々な意見を取り入れる必要がある</li> <li>・小平市にはいろいろな年代の方がいるが、年齢が高めの方でも Web 会議に参加できるような工夫が必要</li> <li>・市が主催する意見交換会等は、コロナの影響を踏まえ、ワクチンができるまでは 3 密を避けて行うべき</li> </ul>
------------------	---

<p>コロナに関する生活様式の変化など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅の時間が増え、市内で散歩や自転車に乗る機会が増えた</li> <li>・        "               、小平市の色々な良さを発見することが出来た</li> <li>・        "               、近所の騒音が気になることが増えた</li> <li>・コロナの自粛期間中は、感染が怖くて市役所に手続きに行けなかった</li> <li>・市が行う行政サービスや手続きは、なるべく3密にならないよう工夫して欲しい</li> </ul>
-------------------------	---

■終わりに

意見交換を通じて、現行計画に掲載している市民の取組内容に対して、わかりにくさ、あいまいさを感じている市民がいることがわかった。取組の弱みや表記方法などを精査し、工夫しなければならない。

また、新型コロナウイルスの影響を受け、生活様式だけでなく、小平市の環境に対しても新たな感想を抱いていることがわかった。

Web 会議形式による初の市民参加であったが、高齢の参加者でも容易に参加することができたとのことであった。Web 会議形式でも対面式のワークショップと同様に活発に意見を共有することができ、新しい生活様式の実践に伴う、市の新たな市民参加の手段の一つとなり得ることがわかった。参加者の人数の拡大や若い世代の参加の促進が課題である。

